

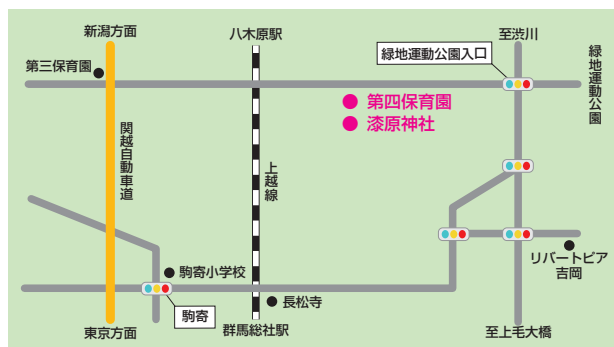
いにしえ
キラリよしおか古語り⑭

向かって左が本殿 右が社務所



漆原保育園創設記念の碑

漆原小字諏訪の地に鎮座して地元住民の尊崇を受けている鎮守の社・漆原神社は、明治43年4月稲荷神社（茶の木と瀬来）、諏訪神社（西原と新田）、白髭神社（根古屋）、北野神社（天神廻り）、大山祇神社（大町）、神明宮（上野原）の八社が現在地に合祀され、村社漆原神社となって今日に至り、平成22年4月には合祀100周年記念の春季祭典が行われました。これらの八社は亀山天皇（第90代天皇1260～1274）の頃に祭られた神々で、領主（桃井義胤か）の崇敬が厚く、祭典の節には幣帛料を供進したといい、村民は漆の木を植え、漆を採取して領主に差し上げたので、漆原の村名をもらったとも言われています。その後、漆原

漆原神社由来記と
漆原保育園

現在の第四保育園

十二紀の氏神となり同族の崇敬を集め、さらには小字の鎮守神として字民から尊敬を受けてきたが、明治政府の神社合祀令により漆原神社となったものであります。

また神社境内にある「漆原保育園創設記念之碑」は、昭和30年3月開園当初、漆原保育園が漆原神社の社務所を園舎として間借りし、30名前後の園児たちの保育を行っていたことの証であります。

昭和55年度からは、社会福祉法人吉岡会第四保育園として再出発。平成27年11月、境内地北隣に定員200名の立派な2階建て園舎に建て替えられ、今日に至っています。

参考文献：吉岡村誌

編集後記

たわわに実った稲穂が、黄金に色つき、今年も変わる事なく、実りの秋を迎えました。

しかし、日本列島を見渡すと、地震や高温、ゲリラ豪雨や台風などによる甚大な被害が、いたる所で起こり、自然の力に脅威を感じるこの頃です。

9月議会一般質問でも、災害時の対応についての質問がありました。吉岡町も、いつ災害が起こるかわかりません。日頃の家族や近所とのコミュニケーション、そして人と人とのつながりが、いかに大切かと思えます。

議会だよりも、議会と皆様をつなぐものとして、編集に努めているところです。読んでいただき、皆様のご意見をお聞かせください。

(大林 裕子)

編集委員

委員長	金谷 康弘
副委員長	村越 哲夫
委員	高山 武尚
	竹内 憲明
	五十嵐 善一
	大林 裕子
	富岡 大志